

第28回

“再エネ賦課金”ってなに？



電気使用量の検針票や請求情報に「再エネ賦課金」と記載されているのを見たことがありますか？

これは、何に対して発生している費用なのか分からない方もいるのではないのでしょうか。

再エネ賦課金の正式名称は「再生可能エネルギー発電促進賦課金」といい、再生可能エネルギーの普及を目的とし、電力会社を通して電気を使用する全ての人が毎月の電気使用量に応じて支払う負担金のことです。

国は、太陽光発電や風力発電、水力発電といった再生可能エネルギーで作られた電気を電力会社に一定の期間・固定価格で買い取ることを義務付ける「FIT制度（固定価格買取制度）」を設けました。

再生可能エネルギーで作られた電力は、私たちが使用している電力の一部として供給されていることから、電力会社が再エネ発電事業者から電気を買収する際に必要な費用の一部を使用する人から賦課金として集めています。つまり、再エネ賦課金は、再生可能エネルギーの導入促進および日本のエネルギー自給率を向上させるFIT制度を支えるための重要な財源になっているのです。

2012年から始まったこの再エネ賦課金制度は、再生可能エネルギーの導入量増加に比例して買い取りにかかる費用も増えていることから、使用者の負担も年々大きくなってきています。

化石燃料の依存を減らすためにも、省エネ設備・機器の導入による節電や、家庭やオフィス単位でも再生可能エネルギーを導入する創電を行い、再エネ賦課金を含めた毎月の電気料金の節約に取り組んでみましょう。

八雲町カーボンニュートラル推進協議会 ☎0137-62-2300



ちょっと知ってね！総合病院

～私たちの知識が、お役にたてれば嬉しいです～

【食事で骨を育てましょう！】



管理栄養士
なかじま さゆり
中島 小百合

骨といえば何を連想しますか？カルシウムを連想する方も多いと思います。骨の約70%はカルシウムで構成されています。カルシウムが不足すると骨が弱くなってしまいう骨粗しょう症という病気のリスクが高まります。

乳製品、大豆製品、魚介類、海藻類などを普段の食事に組み入れることで手軽にカルシウムを増やすことができます！

○ちりめんじゃこ+納豆 ○飲み物（ほうじ茶、紅茶、コーヒーなど）+牛乳
○ご飯+ひじき ○ヨーグルト+きな粉

カルシウムの吸収を助けるビタミンDやビタミンKと一緒に摂ることも大切です。ビタミンDは魚やきのこに多く含まれ、また、日光浴をすることで、体内での合成が促され効果的です。ビタミンKは緑の葉の野菜や納豆に多く含まれています。

このように、上手に食事へ取り入れ丈夫な骨を育てましょう。

※食事制限がある場合は、その指導に従ってください。

【問い合わせ先】 八雲総合病院 栄養管理室 ☎0137-63-2185